

平成4年度関西支所研究課題一覧表

関西地域研究推進目標による研究課題

研究問題	研究課題	研究期間	担当研究室	課題責任者
X V. 風致 林及び都市近 郊林の育成・ 管理技術の高 度化 (林 寛)	1. 都市近郊林の造成・管理技術の向上 (1) 都市林の地力増進技術の改善 ① 根圈土壤の改良 b 木炭の水分環境改良効果 (2) 都市的大環境下における病虫害発生機 構の解明とその防除法の確立 ① 病害発生情報の収集と発生動向の 解析 a 病害発生情報の収集と発生動向 の解析 b ナラ類集団枯損における病因解 明のための緊急調査 c 関西地域の日本海側で発生する スギ梢端枯被害の原因究明 ③ 突発性害虫の生態 a 突発性害虫の生態 (3) 都市近郊林の林相管理技術の向上 ② 常緑広葉樹林への遷移機構の解明 a 広葉樹二次林の群落構造と動態 の解析 ③ 林内環境下における更新稚樹の成 長過程の解明 c 更新樹の成長特性の解明 (4) 竹林管理技術の確立 ① 竹林の生産力と土壤条件の解明 b 竹林の立地特性と栄養条件 ③ 竹林の生態特性の解明 a 竹林の生態特性の解明 ④ 竹林・竹材害虫の生態とその防除 法の確立	3~7 60~4 3~4 4~5 60~5 4~8 3~5 3~5 3~5 3~5	土壤 樹病 樹病 樹病 土壤 防災 昆蟲 造林 造林 土壤 造林 造林	田畠 勝洋 荒木 誠 荒木 誠 伊藤進一郎 伊藤進一郎 伊藤進一郎 伊藤進一郎 細田 隆治 小谷 圭司 伊東 宏樹 加茂 皓一 小谷 圭司 金子 真司 井鷲 裕司

研究問題	研究課題	研究期間	担当研究室	課題責任者
	<p>a 竹林・竹材害虫の生態とその防除法の確立</p> <p>2. 都市近郊林の防災的管理技術の向上</p> <p>(1) 森林の土保全機能の解明と治山工法の改善</p> <p>① 根系とAo層被覆による土砂生産の軽減効果</p> <p>c 急斜面地ヒノキ林の表土流亡危険度評価手法の開発</p> <p>⑥ 山火事による土砂流出の変化</p> <p>a 山火事跡地の植生回復に伴う土砂流出の変化</p> <p>(2) 温暖少雨地帯における森林の水保全機能の評価手法の開発</p> <p>① 水保全機能の評価モデルの開発</p> <p>a 水保全機能の評価モデルの開発</p> <p>c 水保全機能による立地環境評価</p> <p>d 長期観測データを用いたフィルタ一分離AR法による水流出特性の解明</p> <p>② 土壤透水性に与える根系の影響の実験的検討</p> <p>a 土壤透水性に与える根系の影響の実験的検討</p> <p>③ 林内の地面蒸発量推定モデルの開発</p> <p>a 林内の地面蒸発量推定モデルの開発</p> <p>⑤ 温暖少雨地帯における林況変化が流出に及ぼす影響</p> <p>a 温暖少雨地帯における林況変化が流出に及ぼす影響</p>	<p>60~6</p> <p>4~5</p> <p>3~7</p> <p>元~5</p> <p>3~5</p> <p>4</p> <p>2~5</p> <p>元~5</p> <p>60~9</p>	<p>昆 虫</p> <p>土 壤</p> <p>防 災</p> <p>防 災</p> <p>防 災</p> <p>防 灾</p> <p>防 灾</p> <p>防 灾</p> <p>防 灾</p>	<p>五十嵐正俊</p> <p>小谷 圭司 服部 重昭</p> <p>荒木 誠 (分担)</p> <p>服部 重昭</p> <p>服部 重昭</p> <p>服部 重昭</p> <p>玉井 幸治</p> <p>玉井 幸治</p> <p>玉井 幸治</p>

平成4年度関西支所研究課題一覧表

研究問題	研究課題	研究期間	担当研究室	課題責任者
	3. 風致林の機能解明と管理技術の向上 (1) 風致林の機能評価と育成・管理技術の向上 ① 風致機能の計量的評価法 a 風致機能の計量的評価法 c 天然林における生物集団情報の処理技術の開発 d 孤立化した広葉樹林の遷移過程における動物相の生態的地位 f 国有林データベースに関する研究 g 地球規模での気候変動による木材生産量の変化 h 森林及び林業生産力の変動予測技術の開発 j 森林風致景観の需要分析 l 地図情報による緑資源のデータベース化技術 m 緑資源の機能別類型区分 n 热帯林植生の変動評価・予測 o 国有林材の有利販売のためのマーケティング手法の開発 p 関西地域における緑資源利用計画の提言 q 森林の利用区分に応じた野生鳥獣保全技術の確立 r 東アジアの大都市周辺域での環境林配置手法の確立 ④ 林分構造に応じた針広混交林誘導技術の開発 b 林分構造に応じた針広混交林誘導技術の開発	63~5 元~4 元~4 2~4 2~4 3~7 3~7 3~5 3~5 3~11 3~5 3~5 4~6 4~6 3~8	風致林 風致林 昆虫 島嶼 風致林 土壌 風致林 杉村 乾 風致林 杉村 乾 野田 巍 杉村 乾 天野 正博 北原 英治 天野 正博 井鶴 裕司	小谷 圭司 天野 正博 野田 巍 五十嵐正俊 天野 正博 天野 正博 杉村 乾 野田 巍 杉村 乾 天野 正博 天野 正博 天野 正博 天野 正博 天野 正博 天野 正博 井鶴 裕司

研究問題	研究課題	研究期間	担当研究室	課題責任者
XVI. 関西地域における森林造成技術と経営管理方式の確立(林 寛)	<p>c 植物群落と立地環境の解析</p> <p>1. 嵐陽アカマツ林帯における森林造成技術の確立</p> <p>(1) 立地特性の解明と林地利用区分</p> <p>① 林地土壤の母材特性の把握</p> <p>a 林地土壤の母材の堆積特性の把握</p> <p>② 林地土壤の化学特性の解明</p> <p>a 林地土壤の化学特性の解明</p> <p>(2) 地力維持増進技術の向上</p> <p>① 林地肥培技術の改善</p> <p>a 林地肥培技術の改善</p> <p>(3) 立地条件別育成管理技術の向上</p> <p>② 有用広葉樹林への誘導技術の改善</p> <p>a 広葉樹林の間伐試験</p> <p>③ 低位生産林地における針葉樹生産機構の解明</p> <p>a 低位生産林地における針葉樹生産機構の解明</p> <p>(4) 病虫害の防除法の確立</p> <p>① ヒノキ主要病害の発生生態の解明と被害防止技術の開発</p> <p>a ヒノキ樹脂胴枯病の発生生態の解明</p> <p>b 病害発生情報の収集と解析</p> <p>② 主要病害の発病機構と抵抗性機構の解明</p> <p>a 主要病害の発病機構と抵抗性機構の解明</p> <p>③ 主要害虫の被害防止技術の開発</p> <p>b 害虫情報の収集と解析</p> <p>④ ノウサギの被害防止技術の開発</p> <p>a ノウサギの被害防止技術の開発</p>	<p>3~5</p> <p>元~5</p> <p>元~5</p> <p>元~5</p> <p>3~5</p> <p>元~5</p> <p>60~4</p> <p>元~5</p> <p>元~5</p> <p>元~9</p> <p>60~6</p>	<p>造林</p> <p>土壤</p> <p>土壤</p> <p>土壤</p> <p>造林</p> <p>造林</p> <p>樹病</p> <p>樹病</p> <p>樹病</p> <p>昆蟲</p> <p>鳥獣</p>	<p>加茂 皓一 小谷 圭司 荒木 誠 鳥居 厚志 金子 真司 荒木 誠 金子 真司 小谷 圭司 加茂 皓一 五十嵐正俊 伊藤進一郎 伊藤進一郎 黒田 慶子 浦野 忠久 山田 文雄</p>

平成4年度関西支所研究課題一覧表

研究問題	研究課題	研究期間	担当研究室	課題責任者
	⑤ 野ネズミの被害防止技術の開発 a 野ネズミの被害防止技術の開発 ⑥ ニホンジカの個体群変動機構と個体群管理技術 a ニホンジカの個体群変動機構と個体群管理技術 ⑦ 松くい虫個体群動態とマツ枯損の疫学的解明 c マツノマダラカミキリ個体群動態とマツ枯損の疫学的解明 d マツ穿孔虫類の天敵昆虫の生態 e 松くい虫被害の激化防止のための天敵利用技術の開発	60~6 60~8 元~7 3~6 4~8	鳥 獣 鳥 獣 昆 虫 昆 虫 昆 虫	北原 英治 小泉 透 五十嵐正俊 浦野 忠久 五十嵐正俊
	(5) 施業技術の体系化と経営的評価 ① 林分成長の解析と収穫予測 a 林分成長の解析と収穫予測 b 緑資源の地帯区分 ③ 育林投資の採算性評価手法の開発 a 育林投資の採算性評価手法の開発 c 緑資源の最適配置計画手法の確立	元~6 3~5 元~5 3~5	経 営 経 営 経 営 経 営	野田 英志 家原 敏郎 家原 敏郎 家原 敏郎 田村 和也
2. 良質材生産技術の高度化と経営管理方式の確立				田畠 勝洋
(1) 林業技術の地域特性の解明 ① 自然立地条件の解析 a 地形・地質・土壤要因による立地環境評価 ③ 保育方法の違いと量的質的成长との関係解明 a 保育方法の違いと量的質的成长との関係解明 ⑥ 林分構造の推移機構と林分成長 a 林分構造の推移機構と林分成長	3~5 元~5 3~8	土 壤 造 林 経 営	小谷 圭司 鳥居 厚志 加茂 皓一 家原 敏郎	

森林総合研究所関西支所年報第34号 平成4年度

研究問題	研究課題	研究期間	担当研究室	課題責任者
	b 森林継続調査法による長伐期林分情報の整備方式の開発 ⑦ 人工造林地に更新した有用広葉樹の育成技術	3~7	経営	家原 敏郎
	b ミズメ個体群の更新機構と集団の成立条件	元~4	造林土壌	伊東 宏樹 伊藤進一郎
(2) 材質劣化防止技術の確立				
① 材質劣化に関する病害の発生機構の解明	a 材質劣化に関する病害の発生機構の解明	元~5	樹病	伊藤進一郎
	b その他の原因菌の検索及び変色要因の解明	4~6	樹病	黒田 慶子
	c 発生を回避するための施業技術の解明	4~6	樹病	黒田 慶子
③ スギカミキリなど穿孔性害虫の個体群密度と被害発生条件	d 個体群変動モデルの検討	2~4	昆蟲	伊藤 賢介
	e スギノアカネトラカミキリの分布実態調査	3~6	昆蟲	五十嵐正俊
	f スギカミキリ被害の発生条件の解明と防除技術の確立	4~7	昆蟲	伊藤 賢介
⑤ 材質劣化に関する獣害の究明	a 材質劣化に関する獣害の究明	60~5	鳥獣	山田 文雄
	b 獣害発生情報の収集と解析	元~	鳥獣	北原 英治 野田 英志
(3) 経営管理方式の確立				
③ 林業経営管理手法の体系化	a 林業経営管理手法の体系化	4~8	経営	野田 英志
⑤ 林業経営管理主体の育成	a 林業経営管理主体の育成	4~8	経営	野田 英志
	b 竹材生産構造の解明	4~5	経営	田村 和也